

第1章

意識障害入門

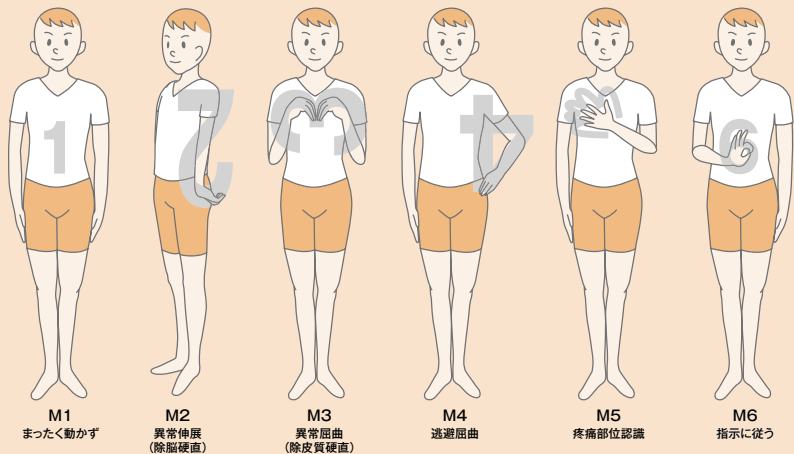
～頭の中をブラッシュアップ～

エッセンス

1st Step : 意識障害を迅速に評価しよう

① 意識障害の深度を 30 秒以内に評価しよう

日ごろから、JCS (Japan Coma Scale) と GCS (Glasgow Coma Scale) で評価する習慣をつけよう。GCS は JCS に比べて暗記しにくいいため、ちょっと工夫して暗記するとよい (下記アジミ体操を参考)。JCS, GCS が自由に使いこなせると、他の医療従事者との情報交換がスムーズになる。



アジミ体操 (安心院康彦ら, 2008 より改変)

② ABC を評価して安定させよう

原因検索よりもまず命の確保が最優先。どんな疾患でも ABC を評価して、まずそれを安定させてからさらなる検査に挑もう。

- A; Airway: 気道確保。最優先事項。用手的、ネーザル / オーラルエアウェイ、気管挿管を考えよう。CT を撮っている間に「呼吸がずっと止まってました」なんてことがないように！
- B; Breathing: 呼吸状態。酸素投与、バッグ換気、人工呼吸器を考えよう。
- C; Circulation: 循環状態。低血圧 / 脱水に対して輸液を行おう。場合によってはカテコラミンを使う。出血があればまず簡易止血を。

③ ①と②はできるだけ同時にかつ迅速に

初期対応に時間がかかるようだと、それだけ治療や原因検索に時間がかかる。何度も訓練してスムーズに動けるように練習しておこう。

2nd Step : すぐ診断できるものから対応しよう

- ① 意識障害の最初の原因検索。合言葉は「Do DON'T」(DONT をせよ)。DONT とは、D; Dextrose: ブドウ糖, O; Oxygen: 酸素, N; Naloxon: ナロキソン (麻薬拮抗薬), T; Thiamin: ビタミン B₁ である。
- ② 血糖値と酸素飽和度は、簡易測定器ですぐに測ることができるため、真っ先に測定しよう。ブドウ糖、酸素、ビタミン B₁ の欠乏症で起こる低血糖脳症、低酸素脳症、ウェルニッケ症候群は、遷延すると重大な後遺症を残しかねない。疑ったらすぐさま治療を行おう。
- ③ ナロキソンは、状況を判断してから必要があれば投与する。

3rd Step : AIUEO TIPS で鑑別しよう

- ① 意識障害の鑑別の基本である「AIUEO TIPS」は必ず暗記しよう。意識障害の鑑別は幅広い。常に色々な鑑別を挙げられるように、これだけは覚えておこう。
- ② AIUEO TIPS の鑑別は広範囲なので、病歴・身体所見から疑わしい疾患に目星をつけて、さらなる原因検索を行おう。AIUEO TIPS をすべて網羅しようとする、明らかにお酒を飲んでいない人に対してアルコール血中濃度を測るなど、不要な検査をしてしまうことになる。AIUEO TIPS はあくまでも鑑別疾患の覚え方である。すべてをしらみつぶしに検索するのではなく、他の所見と合わせて考えよう。
- ③ AIUEO TIPS のなかでも緊急性が高い疾患は、優先順位を上げて検索しよう。